




2024年11月14日

各 位

会 社 名  藤倉化成株式会社
代表者名 取締役社長 加藤 大輔
(コード番号 4620 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 管理本部副本部長
土谷 豊弘
(TEL. 03-3436-1101)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値(2024年4月1日～2024年9月30日)と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異 (百万円未満四捨五入)
(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,000	百万円 900	百万円 1,000	百万円 500	円 銭 16.22
今回実績値 (B)	29,030	727	1,084	715	23.56
増減額 (B-A)	1,030	△173	84	215	
増減率 (%)	3.7%	△19.2%	8.4%	43.0%	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期 第2四半期)	26,271	513	766	374	12.14

2. 差異の理由

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における当社グループの業績は、欧州や中国における販売が低調に推移しましたが、コーティング事業における北米での販売が堅調に推移したため、売上高は期初公表値を上回りました。

利益面につきましては、原材料及び物流、エネルギーコストの上昇が利益を押し下げたことにより、営業利益は期初公表値を下回りました。経常利益については、為替相場が想定より円安に振れた影響により、外貨建資産及び負債の評価替え等による為替差益を営業外収益として計上したため、期初公表値を上回りました。

親会社株主に帰属する中間純利益についても、経常利益の増加及び税効果の影響により、期初公表値を上回る結果に至りました。

なお、通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、現時点において2024年5月14日に公表した予想を据え置いておりますが、今後の業績や為替動向により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

以 上